

学 年	教科等	単元名	日 時
第5学年	国語科	人物の心情を考えて朗読で表そう [教材:「大造じいさんとがん」]	平成30年2月2日(金)公開授業Ⅲ
本実践の主張	【問題意識や目的意識を持続させる単元構成の工夫】 単元の導入で、既習教材を使い、教師が音読と朗読を実演してみせる。実演した音読と朗読の違いを考えさせることで、情景描写と関連させながら人物の心情を考えて表す朗読のよさに気づき、自分の思いや考えが伝わるように朗読してみようという目的意識をもてるようにする。また、毎時間、情景描写を基にした学習問題を設定することで、「情景描写を基に考えられる人物の心情は？」という問題意識を持続できるようにする。 【価値ある言語活動の工夫】 「情景描写を基に人物の心情を考える力」を身に付けさせるために、情景描写と会話や行動等をつながけながら大造じいさんの心情と朗読の仕方を「心の1シーン朗読」用紙に書き込ませていく。その際、ペアで1枚の「心の1シーン朗読」用紙を使わせることで、仲間とともに人物の心情について考えを広げられるようにする。 【「何が身に付いたか」をふりかえらせる手立て】 人物の心情について自分の考えがどのように変わったかを捉えられるようにするために、学習問題を設定した後の考えと大造じいさんの心情について話し合った後の考えを比較させる。また、学習内容をふまえて、改めてペアで朗読させることで、情景描写を基に人物の心情を考えられたという実感をもてるようにする。		

問題意識や目的意識を持続させる単元構成の工夫

「心の1シーン朗読」を発表するために、毎時間、場面ごとの情景描写に着目させて学習問題を設定していくようにした。本時は、最後の場面の情景描写を視写させて、言葉の意味や関係性を捉えさせようとして、大造じいさんの心情とのつながりを考えられるようにした。

言葉の意味や関係性を捉えさせるための視写



「らんまん」や「清らかに」という言葉はなくてもいいよね。



「明るい」や「けがれの無い」という意味だから、ないといけないよね。

この場面でも、多分、大造じいさんの心情と関係があるよ。

問題意識を持続させる導入

価値ある言語活動の工夫

「らんまん」や「清らかに」といった情景描写の言葉の意味と大造じいさんの心情がどのようにつながっているか、「心の1シーン朗読」用紙に書き込ませた。ペアで考えた朗読を練習し、最後は全体で実演させた。



情景描写の言葉の意味とつなげて、大造じいさんの心情を付箋紙に書いてみよう。



「はればれとした顔つき」をしながら、「次は絶対勝つ！」と考えていると思うな。

終末での朗読実演



「また戻って来いよ。」という心情を表すために、よきライバルに語りかけるように朗読します。

「情景描写を基に人物の心情を考える力」を身に付けさせるための価値ある言語活動

「何が身に付いたか」をふりかえらせる手立て

学習問題を設定した後に、残雪を見守っているときの大造じいさんの心情について、自分の考えをノートに書かせた。

大造じいさんがどんなことを考えていたかを話し合った後に、改めて、自分の考えをノートに書かせた。そのうえで、自分の考えの変容を捉えさせた。

大造じいさんは、「今度こそは、勝つてやる」と、考えているはず。



学習問題を設定した後の自分の考え

はじめに書いた考えと比べて、今はどう？

「次はつかまえるぞ」から「それぞれの知恵を使って、また戦おう」という考えになりました。



なるほど。まさにライバルだな。

話し合い後の自分の考え

学びの実感

授業をふりかえって…

- 単元のめあてと本時の学習問題とのつながりを、子どもたちに明確に捉えさせた方がよいと感じた。何のために、大造じいさんの心情を考えるのかということが理解できていないと、主体的な学びには至らず、深い学びにも十分に到達できないからである。導入から言語活動に入るなど、単元とつなげた効果的な指導過程も考える必要がある。
- 資質・能力を確実に身に付けさせるため、個別の具体的な評価方法も考えていきたい。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 指導計画（11 時間）：詳細については次頁に記載

(1) 単元のゴールの姿から単元のめあて及び学習計画を設定する。	2 時間
(2) 新出漢字と語句の意味を確認し、教材の大体の内容を捉える。	2 時間
(3) 情景描写を基に、人物の心情を考えて朗読で表す。	4 時間
・ 美しくかがやく秋の日（うなぎつりばり作戦）	1
・ あかつきの光（たにしばらまき作戦）	1
・ 真っ赤に燃える東の空→すんだ空に飛び散る白い羽（おとり作戦）	1
・ らんまんとさいたすもの花	1（本時）
(4) 教材で「心の 1 シーン朗読」を発表し合う。	1 時間
(5) 椋鳩十の他の物語で「心の 1 シーン朗読」を考え、発表し合う。	2 時間

○ 本時の目標

春の朝を描いた情景描写を基に、残雪を見守る大造じいさんの心情を考えることができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
1 本時の学習について話し合う。 ○ 春の朝を描いた情景描写の視写 らんまんとさいたすもの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。 ○ 本時の学習問題 残雪を見守りながら、大造じいさんはどんなことを考えていたのだろう。 2 本時の学習問題に対する自分の考えをもつ。 ○ 学習範囲の音読（P231010～P232） ○ 学習問題に対する自分の考え 3 大造じいさんの心情と朗読の仕方を「心の 1 シーン朗読」用紙に書き込む。 ○ ペアで「心の 1 シーン朗読」用紙へ記入 ・ らんまん→明るい感じ （心情の書き込み）「おれもがんばるよ！」 等 ・ 雪のように清らかに→すっきりとした感じ （心情の書き込み）「お前と出会えてよかった。」 等 ○ ペアで「心の 1 シーン朗読」の実演 4 残雪を見守る大造じいさんの心情について話し合う。 ○ 書き込んだ大造じいさんの心情 ・ 「おれも獵師として、もっとがんばるよ。」 らんまん → 「おうい、がんの英ゆうよ。」 いつまでも、いつまでも、見守っていました。 等 ・ 「お前と出会えてよかった。」 清らかに → はればれとした顔つき 等 ○ 学習問題に対する自分の考え 5 本時の学びをふりかえる。 ○ ペアで「心の 1 シーン朗読」の実演 ○ 「情景描写を基に人物の心情を考える力」を基にしたふりかえり	○ 情景描写の一文を視写させ、すももの花の写真や挿絵を提示する。そして、『らんまん』と『清らかに』という言葉は必要な？と問うことで、言葉の意味を考えうえで情景を想像し、大造じいさんの心情とどのようなかわりがあるのかという問題意識をもてるようにする。 ○ 残雪を見守っているときの大造じいさんの心情について、自分の考えを書かせることで、現段階での考えを確かなものにできるようにするとともに、終末での自分の考えと比較できるようにする。 ○ ペアで 1 枚の「心の 1 シーン朗読」用紙に情景描写と会話や行動等をつなげながら大造じいさんの心情と朗読の仕方を書き込ませることで、仲間とともに考えを広げられるようにする。 ○ 書き込み後に、ペアで地の文役と大造じいさん役を交代しながら朗読を繰り返し、気付きを伝え合わせることで、自分の考えをより確かなものにしたり、考えを捉え直したりすることができるようにする。 ○ 「らんまん」とつなげて、「おれもがんばるよ！」等の考えが出ることが予想される。その際、「大造じいさんと残雪は仲よくなったの？」と問うことで、「英ゆう」という言葉に着目し、「いまいまい」と思っていた残雪が尊敬すべき相手になったという大造じいさんの心情の変化を捉えられるようにする。 ○ 話合いの後に、学習問題に対する自分の考えを書かせ、導入での自分の考えと比較させることで、大造じいさんの心情について、どのように考えが変わったかを捉えることができるようにする。 ○ 改めて、ペアで「心の 1 シーン朗読」を見直して実演し、感想を伝え合わせることで、情景描写を基に大造じいさんの心情を考えることができたという実感を味わうことができるようにする。

○ 学びの本質に向かっている子どもの姿

大造じいさんは、残雪のことをいまいまいしく思っていたけれど、はやぶさとの戦いを見てから、残雪のことを英雄のように尊敬するようになったね。だから、そんな残雪を見守る様子が「清らかに」という描写に表れているんだね。すっきりとした感じで朗読するよ。	【読む能力】
---	--------



○ 教材分析

結		転		承		起	展開
残雪を見守る大造じいさん		山場 はやぶさと残雪の戦いを見る大造じいさん	おとり作戦中に現れたはやぶさ	おとり作戦	たにしばらまき作戦	うなぎつりばり作戦	場面
P232014 ← P23109		P23108 ← P23001	P229014 ← P22807	P22806 ← P22601	P225014 ← P22308	P22307 ← P22001	
晴れ晴れとした顔つきで見守っていました。 いつまでも、いつまでも、見守っていました。		尊敬 おりのふたをいっばいに開けてやる。 らんまんとさいたすもの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。 「おうい、がんの英ゆうよ。おまえみたいになえらぶつを、おれは、ひきょうなやり方でやつつけたかあないぞ。なあ、おい。今年の冬も、仲間を連れてぬま地へやって来いよ。そうして、おれたちは、また、堂々と戦おうじゃあないか。」	悔しさ 「さあ、今日こそ、あの残雪めに、ひとあわふかせてやるぞ。」 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」 「うん。」（うなる） （二年前、生けどった一羽のがんを見て） 「今年はひとつ、これを使ってみるかな。」 「うまくいくぞ。」（にっこりと） 「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」	悔しさ たにしを五俵ばかり集めておきました。 それを、がんの好みそうな場所にはらまいておきました。 会心のえみ あかつきの光が、小屋の中にすがしく流れこんできました。 「しめたぞ。」 「またしても、残雪のために、してやられてしまいました。」 「うん。」（うなる） （二年前、生けどった一羽のがんを見て） 「今年はひとつ、これを使ってみるかな。」 「うまくいくぞ。」（にっこりと） 「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」	仲間を守る意志 えさをすぐには飲みこまないで、まず、くちばしの先にくわえて、ぐっと引つ張ってみることを仲間に指導	大造じいさん（中心となる人物）	
大造じいさんのおりの中で、一冬をこしました。 バシッ！ 快い羽音一番。一直線に空へ飛び上がりました。 北へ北へと飛び去っていく		頭領としての威厳 （もつれ合って、ぬま地に落ちる。） じいさんを正面からにらみつけました。	はやぶさの目をくらませながら飛び去っていきます。 残雪の目には、人間もはやぶさありませんでした。ただ、救わなければならぬ仲間のすがたがあるだけでした。			指導のポイント（言語活動） ○ 大造じいさんは、なぜ、残雪のことをいまいましく思うのか。 （人物関係図） ○ 同じ時刻なのに、どうして、「秋の日は、美しくかがやいていました。」と、書かれているのか。 （心の1シーン朗読） ○ なぜ、「えみ」ではなく、「会心のえみ」なのか。 ○ 「あかつきの光」とは、どのような様子か。 ○ 「ううむ。」と「うん。」は、どう違うか。 ○ 「東の空が真っ赤に燃えて」とは、何を表しているか。 ○ 大造じいさんの思いが表れている行動や会話は何か。 （心の1シーン朗読）	残雪（その他の人物）
○ なぜ、おりのふたをいっばいに開けたのか。 ○ 「バシッ」という羽音から、どんなことが分かるか。 ○ 大造じいさんは、残雪のことをどう思っているか。 （心の1シーン朗読）		○ なぜ、大造じいさんは、残雪を目の前にして、しとめようとしなかったのか。 （心の1シーン朗読） ※ 残雪側からも	○ なぜ、大造じいさんは、じゆうを下ろしたのか。 ○ なぜ、大造じいさんは、残雪を目の前にして、しとめようとしなかったのか。 （心の1シーン朗読）				「大造じいさんとがん」 （東京書籍五年）
							主題
							残雪が仲間を守る頭領としての姿を見せたとき、大造じいさんにとって、いまいましい存在であったものが尊敬の念へと変わる、人間と動物それぞれの誇りを描いた物語。

○ 単元指導計画（11 時間）

段階	主な学習活動及び学習内容 ※ 吹き出しは予想される子どもの問題意識や目的意識	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す (2)	1 単元のゴールの姿から単元のめあてを設定する。 < 1 時間 > ○ 身に付けたいことばの力 ◇ 情景描写を基に人物の心情を考える力 ◇ 自分の思いや考えが伝わるように朗読する力 ○ 単元のめあて 情景描写を基に人物の心情を考えて、「心の 1 シーン朗読」で表そう。 情景描写から人物の心情を考えられるのか。よし、朗読にも挑戦してみよう。 2 教材を通読し、学習の見通しをもつ。 < 1 時間 > ○ 初発の感想	○ 既習教材を使い、教師が音読と朗読を実演してみせる。次のような朗読を実演する。 ・ 情景描写と関連させながら、抑揚を付けたり、間をとったりする。 ・ 人物の内面にある心情を付け加える。 実演した音読と朗読の違いを考えさせることで、情景描写と関連させながら人物の心情を考えて表すという朗読のよさに気付けるようにする。また、自分の思いや考えが伝わるように表してみようという目的意識をもてるようにする。 ○ 情景描写を基に朗読で表現する「心の 1 シーン朗読」を単元のゴールとして設定する。それを下学年へ発表することを確認させ、朗読のよさを伝えようという目的意識を持続できるようにする。 ○ 題名読みをして、人物像や物語の内容を想像してから通読させることで、教材の中の言葉に主体的に向き合い、「心の 1 シーン朗読」への見通しをもてるようにする。	○ 人物の内面にある心情を朗読で表すことに関心をもち、情景描写を基に人物の心情考えることに意欲をもっている。（関・意・態）
挑む (6)	3 新出漢字と語句の意味を確認し教材の大体の内容を捉える。 < 2 時間 > ○ 新出漢字と語句の意味の確認 ○ 教材の大体の内容（文章構成） 物語の山場は、どこかな。 4 情景描写を基に、人物の心情を考えて朗読で表す。 < 4 時間 > ○ 美しくかがやく秋の日（うなぎつりばり作戦） 「美しく」という言葉は、大造じいさんの心情と関係あるのかな。 ○ あかつきの光（たにしばらまき作戦） 「あかつきの光」の様子を想像して、心情を考えてみよう。 ○ 真っ赤に燃える東の空→すんだ空に飛び散る白い羽（おとり作戦） はじめは「真っ赤」に心も燃えている感じだけど、途中から様子が変わるね。 本時 4 / 4 ○ らんまんときいたすものの花 「らんまん」という言葉と、残雪を見守る大造じいさんの心情は、関係しているのかな。	○ 新出漢字と語句の意味を確認させることで、語句と語句との関係に着目しながら、情景描写を捉えることができるようにする。 ○ 場面分けをした後に、それぞれの場面に名前を付けさせる。さらに、「起・承・転・結」で物語を分けさせることで、教材の大体の内容や文章構成を捉えられるようにする。 ○ 毎時間、情景描写を基にした学習問題を設定することで、「情景描写を基に考えられる人物の心情は？」という問題意識を持続できるようにする。 ○ 身に付けさせたい資質・能力に迫るため、次のような言語活動に取り組んでいく。 ・ 情景描写と会話や行動等をつなげながらペアで「心の 1 シーン朗読」用紙に大造じいさんの心情や朗読の仕方を書き込ませる。 ・ 一単位時間の前半で表現した「心の 1 シーン朗読」を基に、後半で改めて朗読を見直して、実演させる。 ・ 大造じいさんの心情を中心に考えさせていくが、山場の場面では、頭領としての威厳を示す残雪の心情も考えて朗読で表させる。 ○ 学習問題を設定した後と大造じいさんの心情について話し合った後に、自分の考えを書いて比較させることで、人物の心情についてどのように考えが変わったかを捉えられるようにする。	○ 情景描写を基に、大造じいさんの心情を考えている。（読） ○ 自分の思いや考えをまとめて、「心の 1 シーン朗読」で表現している。（読） ○ 情景描写と大造じいさんや残雪の行動をつなげて、情景描写の意味を捉えている。（言） ○ 「すがすがしく」等の情景描写から、語感の美しさを感じ取っている。（言）
生かす (3)	5 教材で「心の 1 シーン朗読」を発表し合う。 < 1 時間 > なるほど。あそこで間を十分にとると、「この作戦なら、うまくいくぞ。」という大造じいさんの心情を朗読で表せるね。 6 棕鳩十の他の物語で「心の 1 シーン朗読」を考え発表し合う。 < 2 時間 > ○ 「心の 1 シーン朗読」の作成 ○ 朗読に関する感想の交流 他の物語でも、情景描写を基に人物の心情を考えて朗読できたね。 ○ 下学年への発表	○ これまでまとめてきた「心の 1 シーン朗読」用紙をふりかえり、最も心に残った場面をペアで練習させることで、情景描写を基に人物の心情を考えて朗読で表すことができるようにする。 ○ 各ペアの朗読について、感想や意見を交流させることで、他の物語での朗読をよりよいものにしようという意欲を高められるようにする。 ○ 前時までに完成した「心の 1 シーン朗読」用紙を参考にしながら、並行読書をしてきた他の物語を「心の 1 シーン朗読」で発表させることで、身に付けてきたことばの力を生かせるようにする。 ○ 互いの朗読のよさを伝え合わせることで、学習の成就感を味わい、物語への関心とともに、下学年への発表の意欲を高められるようにする。	○ 情景描写を基に、人物の心情を考えて、「心の 1 シーン朗読」で表している。（読） ○ 他の物語でも、情景描写と人物の行動をつなげて、情景描写の意味を捉えている。（言） ○ 情景描写を基に人物の心情を考えられたという成就感をもち、下学年に朗読したいという意欲を高めている。（関・意・態）